



TITLE:

学内デリバリー・サービス（現物  
貸借）がさらに便利になりました  
！ - より早く、より広範囲に -

AUTHOR(S):

---

CITATION:

学内デリバリー・サービス（現物貸借）がさらに便利になりました！  
- より早く、より広範囲に -. 静脩 2007, 44(1): 8-8

ISSUE DATE:

2007-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/45675>

RIGHT:

## 学内デリバリー・サービス( 現物貸借 )がさらに便利になりました!

### より早く、より広範囲に

図書館機構では、平成19年7月より利用者に時間的、経費的負担をかけない新配送サービスを開始しました。この新サービスは、本部地区・桂地区・宇治地区3地区を結ぶ配送業者によるルート便(図書専用便)と、それ以外の遠隔地間を直送で結ぶ宅配便の組み合わせで学内の部局・施設を網羅する図書専用配送サービスです。これにより、平成18年3月から開始した従来の学内便による遠隔地間の学内デリバリー・サービス(「静脩」Vol.43, No.1, p.9を参照)はさらに拡充し、これまで配送できなかった地区とも利用者が貸借を希望する図書の配送が可能となりました。

このサービスは本年度の総長裁量経費の配分を受け図書館機構で学内図書館・室間を直接結ぶ図書専用便を導入した図書配送基盤の整備として実現しました。

運用開始までの準備は、業務改善を検討してきた図書館サービス部会と附属図書館情報サービス課相互利用掛の協働で、配送ルートや配送手順の整備、配送容器の決定、広報用ポスター・チラシの作成等を行い、7月から新配送サービスの運用を開始しました。利用者は希望する図書を迅速かつ無料で取り寄せることが可能になりました。ただし部局・施設各々事情が異なり、サービスを利用できないところもあるため、図書館機構HP等で先方の条件を確認のうえ依頼することが必要です。

今後、この新配送サービスを図書館の物流を支える基盤とし、利用者への新たなサービス展開や図書業務全般にかかる多面的な業務展開へと発展させていきます。

(業務改善検討委員会図書館サービス部会)

(附属図書館情報サービス課相互利用掛)

